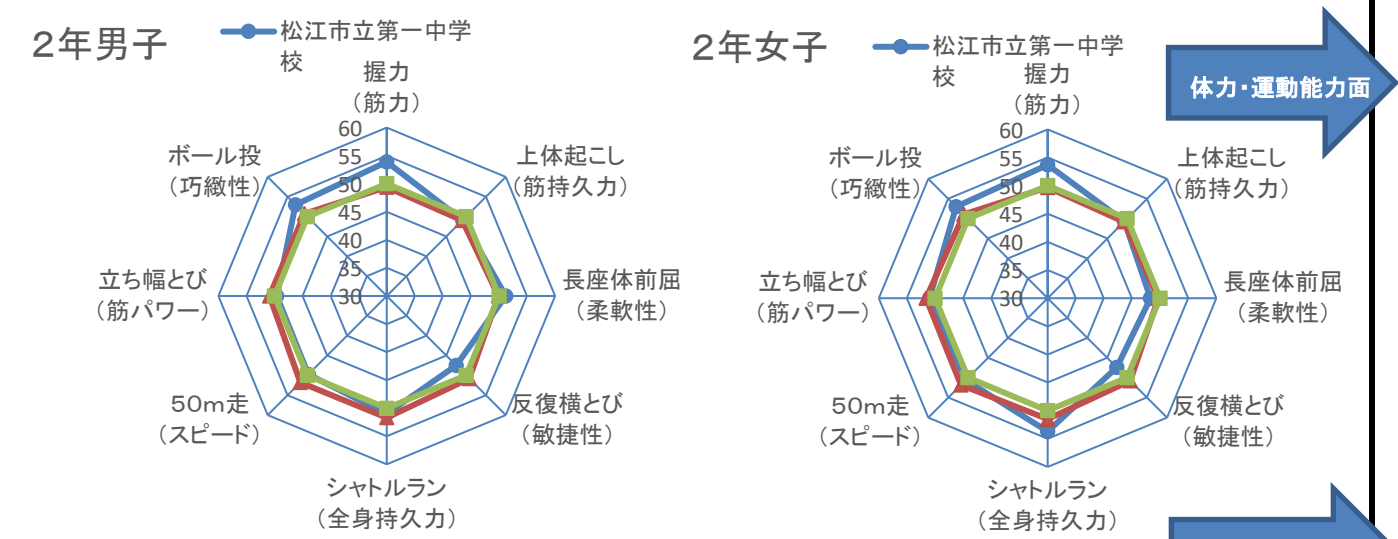
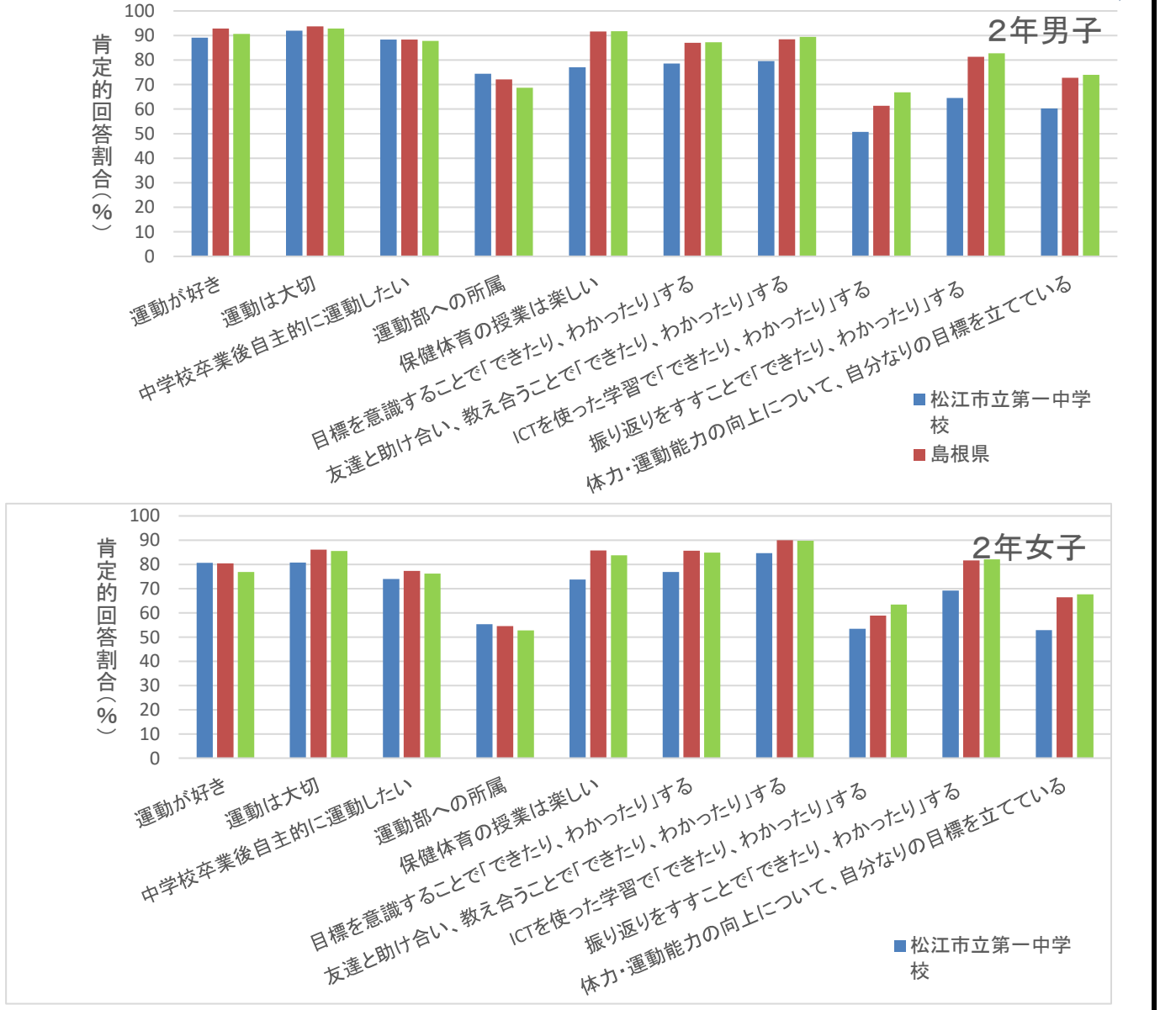


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	3.9	-0.9	1.2	-2.5	1.0	-0.2	-0.4	3.0
女子	3.7	-0.7	-1.7	-2.6	3.7	0.6	1.0	3.0

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-1.5	-0.9	0.5	5.7	-14.7	-8.7	-9.8	-16.1
女子	3.7	-4.7	-2.2	2.6	-10.0	-8.0	-5.1	-10.0
	振り返りをすることで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている						
男子	-18.3	-13.7						
女子	-12.9	-14.7						

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

○持久力向上を目的に体力向上推進プロジェクトとしてシャトルラン月に一回行うということを令和2年から行っている。結果を見る限り一定の成果を挙げていると思うので、令和7年度も引き続き行おうと思っている。

○ここ数年、敏捷性が本校の弱みであるので、体育の授業のウォーミングアップの時に敏捷性を高める運動を取り入れたいと考えている。

○意識調査を見ると保健体育の授業に関する項目で、肯定的な評価をしている生徒が全国と比較して低いのが現状である。ICTを積極的に取り入れたり、めあてを持って取り組ませたり、振り返りも行ったりしているが、活動が形骸化していることも考えられるので、授業のあり方を保健体育科教員で相談し、より良い授業づくりを目指していきたいと考えている。